

筑波大学におけるリサーチ・アドミニストレーター(URA)制度の推進にあたり、大学におけるURAを含む研究支援体制のあり方、および求められるURA・URA類似職像をテーマとし、今後の研究支援のあり方について検討します。

URAとは

URAは、University Research Administratorの略です。URAは、大学等において、研究者とともに（専ら研究を行う職とは別の位置づけとして）研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行う（単に研究に係わる行政手続きを行うという意味ではない）ことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指します。例えば、研究者とともに行う研究プロジェクトの企画、研究計画等に関する関係法令等対応状況の精査、研究プロジェクト案についての提案・交渉、研究プロジェクトの会計・財務・設備管理、研究プロジェクトの進捗管理、特許申請等研究成果のまとめ・活用促進などがURAの業務として考えられます。

開催日時 平成24年 **7月27日(金)**
14:00~17:00

会場 筑波大学第二エリア2H201教室
(茨城県つくば市天王台1-1-1)

対象 大学教職員・大学院生・研究機関等の研究管理
業務担当者・URAに興味がある方等

つくばURAフォーラム

第1回

—「大学における研究支援とURA制度を考える」—

プログラム

- 13:00** 受付開始
- 14:00~** 開会
- 14:00~15:50** 講演 (5名 110分)
- 「筑波大学のURA制度の狙い、人材募集の実施、および求める人材像」(20分)
赤平昌文 筑波大学副学長・理事 (研究担当)
 - 「筑波大学におけるURA制度の概要と求められるURAシステムのあり方について」(20分)
小林信一 教授 (筑波大学 大学研究センター)
 - 「アメリカ4大学におけるURA制度」(20分)
岡林浩嗣 講師 (筑波大学 生命領域学際研究センター)
 - 「企業の求めるURA・産学連携コーディネーター像とURA制度への期待」(25分)
藤澤道雄 課長代理 (第一三共株式会社 研究開発本部 研究開発企画部)
 - 「国立研究機関におけるリサーチ・アドミニストレーション」(25分)
藤田高弘 事務部門長 (物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点)
- 休憩 (10分) —
- 16:00~17:00** パネルディスカッション (60分)
- 「大学における研究支援とURA制度を考える」
(講演者4名、神田研究推進部長 (モデレーター))
- 17:00** 閉会挨拶

参加費無料

申し込み等

事前登録制ではありませんので当日会場へ直接お越しください。
(参加者数の事前把握のために問合せ先メールアドレスに参加する旨ご連絡くださるようご協力をお願いいたします。)

アクセス

自動車を利用される場合

筑波大学本部棟北側駐車場をご利用ください。当日は同駐車場のゲートを開放しています。駐車場より会場まで徒歩5分。

バスを利用される場合

「筑波大学中央」バス停で下車。会場まで徒歩2分。

詳しくは以下のURLをご参照願います。

- ▶ http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html (会場周辺地図)
- ▶ http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html (アクセスマップ)

筑波大学では、URAを募集しております

応募期限：8月20日(月)

問合せ先：筑波大学研究推進部URA採用担当

tel: 029-853-7844/2936

e-mail: urakobo@un.tsukuba.ac.jp